

丹波、石戸山、石がん寺の紅葉

工場見学

年 月 日	2019年11月18日
天 気	晴れ後曇り
集合場所・時間	西宮北口 8:05
参加人数	14名
歩行時間・距離	4時間30分 9.9km
費 用	3450円(北口基点)

コースタイム

西宮北口 8.08⇒阪急宝塚⇒谷川駅 9.44/9.50⇒井原 BS10.05
井原 BS10.10～入山受付 10.45/10.50～仁王門～本道 11.05～奥の院 11.30～頭光嶽 11.45～鉱山跡 12.10～石戸山(お昼) 12.35/12.55～赤白鉄塔 13.50～高見城跡 14.00/14.10～悠々の森 14.55/15.05・・・柏原駅 15.15・・・解散

感 想

今年の紅葉登山は丹波、紅葉の名所の「石がん寺」と石戸山が計画されました。北口、宝塚で皆さん合流しスタートの谷川駅に14名が集まりました。バスで10分ほどの井原BSで下車前の八幡神社の境内で準備体操し2.0km程先の「石がん寺」を目指し車道を歩きますが、西からのキツイ風で案内の幟もはためき何かこれからの天気が心配です。速足で歩き「石がん寺」の受付には30分ほどで到着しました。特別入山料金300円を支払います、小屋では地元の皆さんが農産物を販売されており、買い物に時間を取りたいのですが、早々に入門し仁王門に至る紅葉の参道を登ります。風が強く風に吹かれた葉が飛び散る素晴らしい「紅葉狩り」となりました。すぐ先の本堂前で写真を撮り、お参りし急坂の続く奥の院に向かいます。本道から高度150m程登ると上奥の院、鐘楼堂があり、一汗かいて登った「奥の院」で一息入れ、Hさんが「鐘楼堂」の鐘をカ一杯突き、皆さんの安全祈願をしました。

その後もジグザグの急坂を上ると、鉄塔のある「頭光嶽」439mに登頂します。此のあたりまで来ると太陽も顔を出し、風も止み、快適です。次は左前方に見える、石の壁を目指します。キツイ下りを慎重に下り山沿いをトラバースすると垂直に光る石の壁の下「金谷鉱山跡」にきました。此処は昭和50年代まで溶岩が固まり出来たサスカイト「カオリナイト」が採掘されたとの説明があり、広場には当時使われたブル、トラックが放置され、その姿は何か寂しさを感じます。此処からキツイ坂道をトラバースしながら登ると稜線に到着しました。時間は12:00も過ぎましたがこの先を登ると「石戸山」ですのでそこまで登ってお昼の予定です。12:35三角点のある「石戸山」548mに到着しました。周りは樹々で眺望はありませんが、風が遮られ此処でお昼とします。午後には雨予報もありお昼も早々に切り上げスタートします。稜線は何度かのアップ、ダウンもありますがやがて、快適な道歩きに変わります、黄色、赤、未だ青さの残った樹々の中を進み1.0H程で「高見城址」下に来ました。最後のキツイ岩場を登ると開かれた「高見城址」にきました。周囲の山の案内板、休憩ベンチもあり、下には丹波、柏原の街並みが広がっています。暫し休憩し高度にして400m程の岩場のある道を「悠々の森」に向かいます。この時期ひっそりとしたキャンプ場ですが15:00前広場に下り今日の登山は終了しました。心配した雨も待ってくれたようで、少し厳しいコースでしたが紅葉登山を楽しみました。